

**三浦佳子** Yoshiko Miura

**九州大学大学院工学研究院 教授**

Email address: miuray@chem-eng.kyushu-u.ac.jp



**【専門】** 高分子化学、化学工学、生体高分子

1971年9月1日 埼玉県生まれ： 私立女子学院高校卒業

1995年3月 京都大学工学部高分子化学科卒業

1997年3月 京都大学大学院工学研究科材料化学専攻修士課程修了

2000年3月 京都大学大学院工学研究科材料化学専攻博士課程修了  
博士(工学)

2000年4月 ペンシルバニア大学化学科博士研究員

2001年4月 名古屋大学大学院工学研究科 助手

2005年4月 北陸先端科学技術大学院大学 助教授 (2007年より准教授)

2010年2月 九州大学大学院工学研究院 教授

**【委員 社会貢献】**

2010年8月—2012年7月 文部科学省学術調査官

2015年1月— 日本化学会速報誌編集委員

2014年4月-2016年3月 雑誌 高分子編集委員

2010年1月— Membranes編集委員

**【受賞】**

2014年 高分子学会旭化成賞

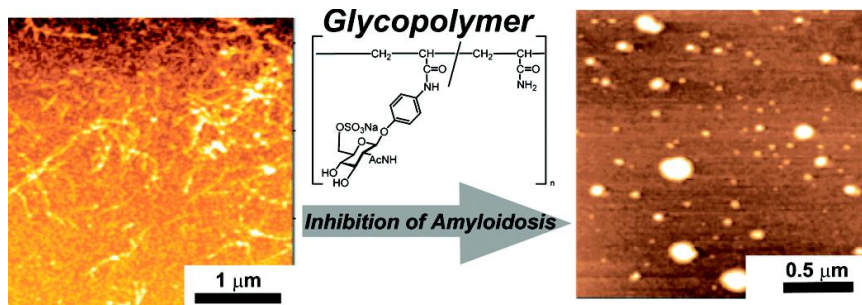


**KYUSHU**  
UNIVERSITY

# 主な研究テーマと成果

## 1. 糖鎖高分子によるグリコサミノグリカン様高分子の開発(2007-2010年)

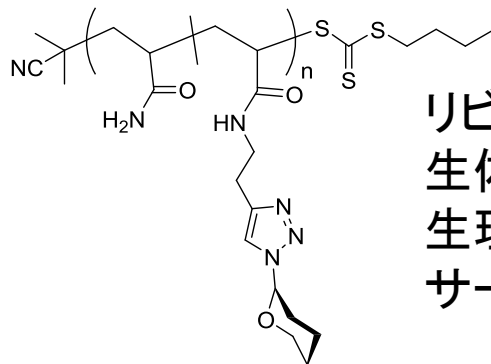
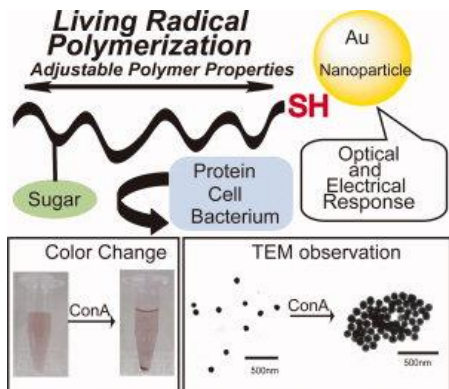
*Biomacromolecules* 2007, 8, 2129-2134. *Bioconjugate Chem.*, 2010, 21, 1079-1086.



硫酸化糖を側鎖にもつ高分子を合成して、グリコサミノグリカンの機能を発揮する高分子を開発した。アルツハイマーアミロイドβタンパク質の変性を抑制して、細胞毒性を中和した。

## 2. 精密重合を用いた糖鎖高分子ナノ材料合成

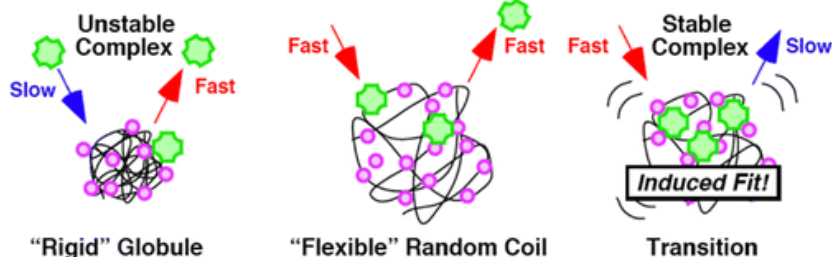
*Chem Rev* 2016, 116, 1673-1692. *Polym Chem.*, 2016, 7, 5920-5924. *Polym Chem.*, 2014, 5, 931-939.



リビングラジカル重合という精密重合法を用い、生体高分子の設計を行った。生理活性の制御や複合材料によるバイオセンサーの開発を行った。

## 3. ヒドロゲル機能材料の開発

*JACS* 2016, 138, 4282-4285. *JACS* 2012, 134, 15209-15212. *J. Mater Chem B*, 2017, 5, 1148-1154.



ナノゲルや多孔ゲルを用いて生体機能材料を開発した。